

矢吹原土地改良区組合員の現状把握と組織改善のためのアンケート調査

2022年11月1日現在

- 問9 最後にあなたが思うことを自由にご記入下さい。
 (※個人を特定しての誹謗、中傷等の表現については一部削除しております。)

《白河市》
・有事（地震等）早めの点検・修繕を願う。（60歳代・兼業農家）
・国営なので国から補助金等で賄ってほしい（米価が下がっているため）。過去のようにGW明けに取水を開始してほしい。（50歳代・兼業農家）
・羽鳥湖の水量減はないのか？開発で減ってはいないのか？（70歳代）
・現状の米価では後が心配。（70歳代）
・問8の賦課金の値上げは、耕作している方は仕方ないと思いますが、他の人に貸している方は値上げ分を担い手の方に支払っていただかないと納得しないと思います。（40歳代・会社員）
・米の需要拡大を出来るだけ行って、少なくとも米余りを解消していかなくてはならないと思う。世界的に見れば食料（小麦）が不足して、又値上げしているのだから、その代替えとしても。（60歳代）
・これからも農業は必要なので、できる限り続けていきたい。国はどう考えているのか。計画的な行方を示してほしい。新しい開拓をお願いしたい。（80歳以上）
・全然水がこない場所で田んぼではなく、豆やその他を他人に耕作してもらっている。水が来ないのに何故賦課金を払うのかわからない。水代高すぎ、決済金高すぎです。これから賦課金を払い続けるのは厳しいです。（40歳代・会社員）

《須賀川市》
・賦課金を上げるのもいいが、六軒地区に水がほぼこない。同じ賦課金を払っているのに。改良区の方も水利のほうをみてほしい。（サラリーマンとの考えはダメ）役員手当が多過ぎじゃないか。農家の事を考えてください。意見を書いても改善にならないのでは？（50歳代・兼業農家）
・相続者がいるとしても、引き継ぐかどうかはわからない。自分を含む多くの人がなると思う。（70歳代）
・高齢により作業不可。（80歳以上）
・鳥見山より須賀川門を早くなおしてほしい。（60歳代・専業農家）
・各市町村に於いて、現在の水田を工業団地又は住宅団地に開発した方が農家にとっては大変有利だと思う。是非、検討願いたい。（70歳代）
・米が安いのに水、整備、修理等々のかかりが大きいのは困る。国での対応はないのか？補助金運営はできないのか？（60歳代・専業農家）
・賦課金を値上げする事より、まず米価が上がりなければならない。高齢化が進むので放棄地がふえるので維持できなくなる。（60歳代・専業農家）
・国からの助成をうけ日本の米作りは続けなければならない。食料安保のため。自給率を上げるため。ウクライナのようにになったら食料がゼロになる。（70歳代・専業農家）
・農水省と交渉出来る強い力を持ってほしい。今後ますます農業を担う人間が少なくなり、10年20年後はどうなっているか？国県市町村でも早急に改善案をまとめる時期が来ています。一番苦勞して収益の少ない仕事を後継者に「やれよ」とは言えない時代。農産物の価格も農家人が設定して販売できる時代、相手に価格提示による販売はしたくないです。一番バカを見るのは農業者では？（50歳代・専業農家）
・灌漑施設に要する維持管理費用の増大は避けられない。米価との対費用効果を考えるとき『用水』を長距離によって確保するとは根本的に改善すべき時にきている。（80歳以上・専業農家）
・田も今年で7年は作っておらず、水利金だけ払っている状態です。家族でも二人で米は買って食べています。なんとか水利金の支払いをないことにしてほしいと思っています。よろしくお願いします。（70歳代・兼業農家）
・農地維持の為、今後も修繕及び改修を実施願う。（60歳代・専業農家）
・耕作の後継者がいないので、いつまでできるか不明。むかし、減反した果樹園等は面積から抜いてほしい。（60歳代・兼業農家）
・今まで正常に取水が出来ず耕作を放棄した。現在、荒地になっているのに水利費を払っている。早急に土地改良区の解散を願う。（60歳代・会社役員）
・田んぼは耕作しないので、賦課金の値上げはこまる。（70歳代）
・米価も下落し、経営が苦しくなっています。修繕の必要経費の負担は、現状維持するためには仕方ないと思いますが、できるだけ少ない負担により、国などからの資金はないものではないでしょうか？私は耕作していないので、微々たる小作により、他の収入はありません。（60歳代・専業農家）
・田んぼは耕作している方に譲りたい。（70歳代）
・後継者がいないので、将来は離農する事になります。（80歳以上）
・赤字の現在。値上げはダメ!!（60歳代・専業農家）

<ul style="list-style-type: none"> ・将来、後継者がいないので離農したい。ずっと賦課ばかり払い続けるのも負担になります。国民年金でもあるし、かといって高い決済金も払えず、農地（田んぼ）も必要なく荒らすようになるのではと思います。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・須賀川には水がまんぞくにこねえ。（70歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・もっと努力した方がいい。（50歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・もう長く放棄しているの、そのままだと荒れ放置になるので、毎年草刈りなどして管理しています。東鹿島側道のアカシヤの木が伸びて危険なので困ります。須賀川市浜田六軒（80歳以上）
<ul style="list-style-type: none"> ・稲刈り、脱穀は若者がしています。苗作り、代かき、田植えは親戚の人にやってもらっています。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・今すぐにも改良区から抜きたい。（80歳以上）
<ul style="list-style-type: none"> ・組合員だけの賦課金だけでは修繕費の捻出は難しいため、国・県・市・町等に修繕費を出してほしい。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・経費が掛かりすぎるので、今のままでは存続できない。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・年金では賦課金とか水利費を払うことが出来ない。他人に田んぼを耕作してもらっても米が安い上に値上げされて老人は大変である。（80歳以上・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・近い将来、子供たちには賦課金を払わせたくないの、脱退できるならしたい。（50歳代・専業農家）

《泉崎村》

<ul style="list-style-type: none"> ・矢吹原土地改良区は賦課金が高い。だから離農したい。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備をし、通水を万全にして、耕作できるようにしてほしい。羽鳥ダムにより、県南地方の繁栄がある。国の補助金などを活用し水田耕作を続けられるようにしてほしい。日本は水稻以外には何も作れない。景観・環境・防犯の意味でも水田の果たす役割は大きい。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・0.6aの田一枚しかなく自宅より近いので自家用野菜畑としている。決済金を払って脱退したくても決済金が高い。30年以上も田を耕作していないが、水利費・賦課金を払っている。（70歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・県内でも賦課金が高い土地改良区であり、更に各水系に維持管理を委託しており、土地改良区で賦課金が徴収され、水系でも徴収されており、その下部にポンプ組合があり、水利費を徴収している。このような体制維持がこのまま出来るとは思えない。（役員になる成り手が高齢化等で不足する。）河川水源の土地改良区賦課金は数千円で済んで入ることを考えると決済金での脱退も検討している。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・地震、台風、豪雨による突発事故発生する箇所がいつも同じ所が多いような気がします。恒久対策はとれないのでしょうか？（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・3. 1 1の地震の時はポンプ場の修繕時のガラスや部品の撤去を要求しましたが、数年たっても撤去されず、憤りを感じています。その様な地元の役員は必要ないかと思われ。ポンプ場の出入りもやめていただきたいとも思います。ポンプ撤去も考えて頂きたいと思います。（50歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・現状のままで修繕を多くできないのか！（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・水利費が高い。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼは作れない（お金がかかるので）。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県に補助金も含めてもっと関与してほしい。将来の食糧不足・自給率の向上・国土の保全等、他は重要度を増すと思う。国家公務員が管理すべき。農家に任せておけばいずれ破滅する。食料保安がされているなか、外国に頼りすぎなのは危険。（70歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・現在、当地区では補助事業による基盤整備事業を計画しております。圃場の大規模化により担い手農家への集積につながることを期待しておりますが、ダムからの水利施設の維持管理には大きな費用が掛かるので、国や県によるサポートが必須なので行政との連携を進めていってほしいと思います。（60歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の土地は使用するのに土地改良をしないと機械が使えない為、作付けが出来ないので解散してほしい。又は取水の除外をしていただきたい。米価が下落している中で（赤字の中で）耕作は非常にきびしいと思います。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・全てが国営になると良い！賦課金0円。大規模農家は優遇されていて小規模はどうでしょう？このような状況では（米価安含む）継続は無理でしょう。小規模農家者には、係る経費（全て）を国が負担してくれたらよいと思う。都合の良い話ですが！（50歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作している田んぼに関しては、値上げもやむを得ないが、何十年も放棄している田んぼの水利費・賦課金の値上げはおかしい。検討してほしい。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・米の価格が低く、田んぼを続ける意味があるのか。現在の状況からして水の確保のため米を作っていることが難しい。食料確保（全体の40%）を考えないとだめだ！（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・通水を5/1からにしてもらいたい。（60歳代・公務員）
<ul style="list-style-type: none"> ・米農家として米価が下がり水利費等値上がり。今後大変不安です。農業（特に米農家）補助金に期待します。（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・利水調整員が水路周りの草刈りをしない。（50歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・改良区費が高くなるのは困ります。作ってもらっている人も高齢化してきて、今後、どこかで、まとめて作ってほしい。（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・賦課金は何年ぐらいで終了するのですか？（70歳代）

<ul style="list-style-type: none"> ・土地所有権を放棄（できれば売却）したい。改良区にこれまで多くを投資してきたのに、脱退するのに決済金を支払うのはおかしい。（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・大信地区にダムが出来た話あった時、どうして作らなかったか？（雪が年々少なくなるのに）羽鳥ダムのコンクリートのアーチ型堰堤出来ないのか？（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、耕作者が減少し、地区の水田の維持が難しいと思われま。現在の米価を見ると赤字であり、今後の耕作の継続を考える時期にきており、離農が早くなる可能性あり。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・お米の値段が下がって、年齢が高くなるにあたり、体調の心配もあり、子供に頼れないので、私の後は売却した方がいいのかなあと考えています。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・理事役員、職員の資質向上を望むが…。一般組合員の研修等規格運営なども望むがやれるわけないな！農業は人々の食糧を生産して、人々の血となり、体力・生命の維持に必須の産業であり、それを国の根幹となす政策が必要であり。食物を他国に依存するのではなく、有効に土地の生産力を向上させて行くべきだと思っている。が、残念ながらその様なシステムになっていないのが現状。人々は安全な食物を食し、健康に生きたいと言う生命の根本的な欲求がある。資本主義のコストパフォーマンス、安かろう第一では我々の生命は脅かされてしまう。今、田んぼの小川には、フナやヒガイ・ドジョウなど子供のころに見られた魚がいなくなってしまった。米の作り方も農薬・殺虫剤等を振りまき散らしているが、省力的にはなるが、いずれ、そのつけは私たちの健康に悪影響ではないかすごく心配している。そんな、あれやこれやと思いつながらできるだけ安全な米を作ろうと兼業農家で頑張ってきたが限界だ。国の大元の所で言う大臣や農水省の幹部の方たちの、国民の命と暮らしを作り上げる体系的な施策を望む。現場からそういう声を上げ続けて、改善していったらいいと思う。米の消費は人口減少の比例する。少子化対策。総合的見地で対応できないか？（70歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作しているうちは心配ないですけど後のことを考えると不安もあります。（40歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・米価が安く、経費だけ増える。生活が出来なくなる。後継も田んぼは金がかかるだけで不安。米を買った方が安い。米を食わない。経費で米と肉も買える。（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕や賦課金の値上げは、やむを得ない事はわかっている事なのですが、米の値が上がり、負担金が大きく大変だと思います。このままでは離農する人も増え、「魅力がある物を考えなくては？」と思います。“何かありませんか”『修繕できなければ…』の書いてある事も近い将来あり得ることであると思います。（70歳代・専業農家）

《矢吹町》

<ul style="list-style-type: none"> ・田の売却を考えています。その際、的確なアドバイスを頂きたい。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの耕作を続けられない。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・小作料が反0.5俵（たったの）水田を持っていても土地改良区に支払いの方が多めで、この先の事を考えると頭が痛いばかりです。（70歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・賦課金の値上げは絶対反対です。もっと土地改良区内の合理化を考えるべきではないか。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・米価が下がる一方、賦課金だけが年々上がっている。修繕費用がかかるのはわかるが、相続者もいないので売却を検討している。（50歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区については、何の異議はないが、政府が米を77万tも輸入し農業は圧迫している状況は許せない。このままの米価では田んぼ農家は潰れてしまう。農家を殺すな。（70歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・農協、役場に田を行ってもらいたいです。（60歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・水田を守る為に一人一人が出来ることをしていきたい。（60歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人化して耕作してもらいたい。（80歳以上）
<ul style="list-style-type: none"> ・農機具を買い替える位の利益があれば続けて耕作したい。あまりにも、各地区の水係に任せっきりにしが見えない（維持管理について）。米の値段が下がり経費ばかり上がったなら続けたくても続けられないのが本心です。涙が出ます。（50歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・国や県から助成してもらおうべく強く働きかけてほしい。米の値段が上がる見通しが無い中で、経費は年々上昇、米作は所得が下がる一方です。このような状況で田んぼを手離さざるをえないのは当然なのでは?!もうからないのに息子や孫に継がせたいとはだれも思わない。（50歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼは国土・食を守るもの。国、県、町と考えるべき。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・値上げはやむを得ないけれども、米が年々下がっているのでも何とかしてほしい。（40歳代・会社員）
<ul style="list-style-type: none"> ・経費ばかりかかり、米は安いので、もうやりたくない。決済金も高すぎるので払いたくない。（30歳代・兼業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・孫が田んぼを作らなければどうしようもないので、やめるしかない。（80歳以上・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・災害により修繕費も仕方ないかもと思う。でも、米も安く経費ばかりかかり、やらない方がいいかもと考えるこの頃です。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作できなくなった田んぼの受け皿がないので、そのまま荒地と化してしまう状況が発生している。株式会社あるいは団体設立に関し、そのような状況の田んぼを必ず引き受けることを条件に設立を後押ししてはどうかと思う。（60歳代）
<ul style="list-style-type: none"> ・賦課金が値上げするには理解するが、取水が悪い箇所がある。もう少し調整委員だけでなく改良区の職員の方々も調査し検討してほしい。（60歳代・専業農家）
<ul style="list-style-type: none"> ・基盤整備をして少ない水を有効活用してほしい。（50歳代・兼業農家）

<p>・値上げはやむを得ないですが、11年前の地震の影響で河川のブロックが壊れている所がまだあるので、早急に直した方が良くと思います。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・安定した水量がほしい。(60歳代・専業農家)</p> <p>・矢吹町の町内を幹線用水路が埋め立てられ砂利並になっているが、ここ数年、保安のための草刈りを行っていないのはなぜか？矢吹町区長会のみ草刈りに疑問あり、最低年2回は改良区の草刈りは義務なのではないか！又、改良工事当時の農政局との話し合いでは砂利道の利用についても可となっていたが、デコボコ道の対策が無いのはなぜなのか？予算が無くて出来ないという言い訳は問題である。水系管理は水の配分調整のみでは無い。(70歳代)</p>
<p>・決済金とは？(60歳代・専業農家)</p>
<p>・羽鳥ダムのほかに、第二のダムがあれば水不足にならないと思う。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・日本を守る米作りに関わる業務なので、土地改良区及び水利組合なので、存続してほしい。三年間お世話になりました。(60歳代・公務員)</p>
<p>・役員の数、手当の額等、現状が適正かどうか考えてほしい。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・改良区の仕事の内容がよく理解できない。(70歳代)</p>
<p>・田んぼ耕作を続ければ続けるほど、赤字経営では耕作する意味がない。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・離農したい。限界。(80歳以上)</p>
<p>・米の値段が下がりやっつけいけない。(60歳代・会社員)</p>
<p>・昨年のように米価がさがるようなことが続けば赤字になり、米作りが出来なくなると思う。土地改良区が有る限り頑張りたいと思いますが、今後5年間で勝負の時期ではないでしょうか。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・賦課金はかなりの負担だ。(50歳代・兼業農家)</p>
<p>・私は他人に耕作してもらっているのに、令和3年度産米の下落について、非常に落胆している。水田を返されるか心配である。賦課金は自分で支払っているのに水田なんて売却したい。(70歳代)</p>
<p>・現在、田んぼの耕作は頼んでやってもらっている。少しではあるが小作料も頂いている。しかし、小作料では土地改良区への支払いもままならない。それでも借りて耕作してくれる人がいるうちはいいが、近い将来、小作料をもらうどころか田んぼの管理代として支払うことになってしまうのではないかと危惧している。(60歳代)</p>
<p>・稲作をやりたいが、家計にプラスになっていない。畑作にして多目的な作物をやりたい。(60歳代)</p>
<p>・今の所、後継者はいますが賦課金や肥料・農薬などが値上げで、逆に米の方は値下がり、生活が苦しくなるまでして田んぼを続ける必要がどこにあるのか、これでは若い人たちもやる気も続けることもしないと。早いうちに羽鳥の取水を止めて土地改良区の解散をお願いしたいです。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・現在の日本の農業政策は他国に比べお粗末で現状のままでは食べていけない。したがって後継者が育たない、衰退する一方だと思っている。(80歳以上)</p>
<p>・通常時に職員が少しの要望ですら連絡がつかず、返答すらしないという本当に仕事をしているのかもわからない。今の現状をどうかんがえていますか？利水調整委員だけに全て丸投げしている気がします。水利関係も予定の変更などを誰も知らないでかわり、田の管理が狂います。もっと職員の職務態度の改善を求めます。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・兼業農家の人が多いので、GWに作業できるように通水時期を考えてほしい。(50歳代・専業農家)</p>
<p>・今後私の家の回り治水関係でどのようになるかわからない。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・パイプラインで各戸メーター制にして使用量で支払する。(70歳代・専業農家)</p>
<p>・決済金について、受益者への説明をほしい。改良区存続維持の為に。(50歳代・会社員)</p>
<p>・羽鳥ダムから取水の維持管理に力を入れてください。(80歳以上)</p>
<p>・矢吹という小さな町に3つも改良区がある。1つにする。組合員総会を行う(全組合員にて)。民間の経営では考えられない。調理人を使用しているのでは？(70歳代・専業農家)</p>
<p>・国民の食糧生産は大切な事業であり、昔の圃場を再区画整理(国営)し、大面積にし、企業経営に移行するしかないと思う。(70歳代)</p>
<p>・貸しているのに修理費を負担しなくてはならないのは、とても大変です。小作料はもらっていません。(60歳代・会社員)</p>
<p>・米が安いので農家はダメ。後継者がいても農家はやらない。(70歳代)</p>
<p>・他人に耕作してもらっているが、耕作者も高齢になっているため、近年中に耕作放棄になってくると思われる。田を保有しているため賦課金が負担になっている。専業農家のみで賦課金は負担して頂きたい。営農していない会社員です。(50歳代・会社員)</p>
<p>・耕作を人をお願いしている状況であり、今後、自分で耕作することは設備投資・労働力の確保等の面からも不可能である。決済金なしでの脱退(耕作放棄)できるようにしてほしい。(50歳代・公務員)</p>
<p>・米価が下落している昨今、非常に稲作を続けることに大変である。ましてや賦課金の値上げとは？食糧とは土地改良区の問題、農家等々の問題ではなく、国家の問題である。農水省へ意見を出し農家の負担を少なくして頂きたい。何故、放棄地が増えるか考えていただきたい。(60歳代・専業農家)</p>
<p>・水稲ができなくなってしまう。米の値段も毎年安くなっているのに、いろいろな物の値段が上がっている。土地改良区を解散しても良くなるのでしょうか？(40歳代・兼業農家)</p>
<p>・高齢の為(86才)今年度で稲作止だと思っている。(80歳以上・専業農家)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・管理費が値上げにより、生産高価が低下しているので、今後、土地改良区脱退して畑として使用する。(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・経費がかかりすぎるため、作っている意味がない。(60歳代・専業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区存在自体が負担。特に矢吹原。自分が亡くなっても、子供・孫までついてまわるのがヤクザと一緒。度々、封筒で通知する金があったら賦課金値上げするな。(50歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・農業をやめたい!(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・値上げも仕方ないが限度はある。米作を個人で行うのは限界にきている。田んぼを国が買い上げ、公務員として米を作る人を増やす。そうすれば小さく区切られた田んぼ等を大きな田んぼに再生することもでき、大型機械の導入等でのコストダウンも図れる。後継者問題にも解決の道筋が見えてくる。本当の意味での国策化が必要。(50歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・少しの田圃なので売却したい。(70歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・改良区費は上がる、米作の経費も上がる。なのに、米は安い。田んぼを遊ばせれば耕作放棄で税金は上がるし、どうしたらいいんですか?(60歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・今すぐ脱会したい。脱会出来ないなんて理解できない。水利金代にもならない。(70歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価格の下落に合わせ負担金の値上げは、生活に大きな影響でもある。(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・賦課金の値上げもやむを得ないと思うが、米の価格が下落している今日、悩むところでもある。(70歳代・専業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・国の事業で始まった施策、補助金を得る方法。災害なのだから。
<ul style="list-style-type: none"> ・私は75才になります。息子は近くに住んで農繁忙期は手伝いますが、農家を継ぐとは言いません。時の流れで宅地化・組合員の減少・職の西洋化・米余り・食の自給率は高くないのに、水系の経費と収入が反比例で、お先真暗です。爽やかな街(町)が先行不安。(70歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・福島県産米価が下降して、経営が圧迫しつつあり、今後の厳しい営農環境にあり、現状維持も難しくなるのかもしれないので、経費の更なる負担はできません。(60歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・問8は回答が難しかった。「分からない」ではアンケートの趣旨に沿わないと思い無理やり回答しましたが、農業者の高齢化及び後継者不足・米価下落・修繕費用の負担増の3重苦ですね。土地改良区の解散って、全国には前例があるのですか?矢吹原土地改良区が解散した後の景色が想像つきません。(60歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・合併し改良区は続けるべき。各町村の運営でもよし。町のためになる水田は農振地から抜くべき。(役に立つ生活道路の両側等)(70歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は地区役員に頼り過ぎ。パイプラインは修繕費大、心配だったと思う。下流地区通水は一週間くらい早めにできぬか。(80歳以上)
<ul style="list-style-type: none"> ・肥料、農薬の値上がり等で農家の経営が大変厳しく、米は安い。(70歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価と土地改良区費のバランスが悪く、田んぼを手放したい。(70歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・稲作で生活はできない。稲作で向上は望めない。(60歳代・専業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・国県の補助を上げてもらえばいい。池下からも水利費をもらえばいい。水路に水がこないで、40a作れない。(70歳代)
<ul style="list-style-type: none"> ・地震災害による施設の修繕については、国・県による復旧が良いのではと考えます。(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・日本は米作りが大切です。田んぼの耕作は続けてほしいです。(70歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・これ以上負担を多くしないでください。(60歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価下落、経費倍増では米作りは衰退。農家の努力では限界を過ぎている。(60歳代・専業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・仕事はいろいろあると思うが、すべてがお金のかかる仕事ばかり。もっと、お米を食べて自給率を上げることを一番考えれば、価格も上がり後継者の心配もないはず。農業が会社員より収入があるとなれば、将来の心配も、世界最下位の食糧自給率も上げられるはず。政治家も日本人々も食料自給率を考えなければ日本の将来はないと思う…(40歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・米価が低迷し、農薬や肥料の値上げが続くなか、地域賦課金や土地改良区賦課金の値上げは、組合員をますます苦しめるだけで脱退者が増えるだけ。これ以上の負担を無くすためには、水の恩恵を受けている古田からの賦課金の協力をお願いしてほしい。(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取るのはいいけど、これをどうなるわけでもなく、現状の状況を伝えてくれればよい。(60歳代・団体職員)
<ul style="list-style-type: none"> ・現況のような米価の状況下に於いては、将来に希望が持てないと思います。加えて賦課金等の上昇では益々離農せざるを得ないのではないのでしょうか。このままでは、賦課金どころか決済金も払えない状況だと考えております。(60歳代・兼業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼを耕作していないのに、賦課金を払わなければならない理由を具体的に知りたいです。(60歳代・専業農家)
<ul style="list-style-type: none"> ・決済金も家計に圧迫するので、なくしてほしいか、少なくする。(50歳代・会社員)
<ul style="list-style-type: none"> ・今まで、中畑地区・三神地区の圃場整備は行ってきたが、矢吹地区の圃場整備は全く行っていない。機械が大型化しているのに、田んぼは1区画10aがほとんど。早く圃場整備を進めてほしい。(50歳代・会社員)

・なるべく賦課金の値上げを抑えるようお願いする。この状況下では値上げで耕作者がいなくなり、更なる値上げまであり得る。国や県への値上げによる経費の上乗せ等の要望で農家の負担軽減をお願いします。(50歳代・専業農家)

《鏡石町》

・組合員の減少に対応するため、大区画圃場整備を進め、大型農家の育成が急務です。また、古田も組合員参加を図り改良区の運営安定させる必要ではないですか。長期的安定に羽鳥湖の水源を守るよう関係者へ改良区は伝え続けるべきと思います。(70歳代・専業農家)

・稲作農家だけでは成り立たないので、水田は不要である。それらに係わる費用の支払いに疑問を感じる。耕作もしていない田に水利費を支払う等。(50歳代・公務員)

・賦課金を旧田からも。(60歳代・専業農家)

・賦課金、水利費、肥料の支払いに給料を充てるのは苦しい。家計を圧迫してまで田んぼを作り意味があるのかと思う。(60歳代・兼業農家)

・賦課金の値上げについて、一応はやむを得ないが、国・県・市町村に負担してもらうように交渉してもらいたい。これからの米価格について、我々で価格設定ができない。コスト的には資材・農薬・肥料が毎年値上げになるので、ますます経営が厳しくなる。(70歳代・兼業農家)

・採算性が合えば、値上げもやむを得ないと思います。(50歳代・団体職員)

・今現在水は、数年前から池からモーターで上げているがモーターが壊れたら、辞めるつもりです。(70歳代)

・値上げにも限界があると思います。土地改良区で使命を全うできない場合は早めに答えを出してもらいたい。何か別の作物を栽培するなど出来るだけ早く考えていかなければならないため。(60歳代・専業農家)

・地震豪雨、自然災害等国が行う修繕費ではないのか？水稻の価格低下、経費の増、稲作を維持するのがむずかしい。農地の維持、景観の維持ほんとうにできるのでしょうか？(50歳代・専業農家)

・近い将来、輸入が出来なくなることが起きた場合、国は何を考えるか。御再孝願いたいです。農家の現状です。(60歳代・兼業農家)

・パイプライン方法の工事は失敗だったと思う。用水路のままのほうがよかったと思っている。パイプラインは修繕がかかりすぎるように思う。(70歳代・専業農家)

・水田を耕作するために、取水は必要で修繕も必要だが赤字になると困る。産業として成り立たないとならないので上限があると思う。このため、古田(旧田)などからも水利費をとる努力をしてほしい。改良区の職員の給料や退職金はどうなっているか知りたい。改良区の職員の冬季間の勤務や仕事は何か知りたい。税金も10aあたり1,800円を支払っている。地域での修繕費の支払いもあり経費的には限界にきている。(60歳代)

・値上げ反対です。私たちも苦しいです。役職員の給料を下げてください。(60歳代・兼業農家)

・国営事業の実施。なぜ、パイプラインにしたのか？開渠の方が修理も楽だし、雨水も呼び込めたのでは？(50歳代・兼業農家)

・ここまで米価の値段が下がり、5年・10年先の見通しが出来なく、年単位で考えなくてはならない時期に来ているのではないかと思う。先々のビジョンも見いだせない。(60歳代・専業農家)

・最近、組合員から脱退したのに従来通り水田を耕作している人がいるこれは大変不公平であり、ほかの組合員の不満と怒りを買っている。その分他の人に負担がかかることなので改めてほしい。「そんなこと許されるなら俺も脱退したい」と言っている人もいる。こんなこと許してはならない。(70歳代・兼業農家)

・毎年の通水開始をもう少し前にしてほしい。(50歳代・専業農家)

・困ったことが出来て、相談したところ、あまり相談にのってくれなかった時があり、たらい回しのような扱いを受けた時には涙が出るくらい切なかった。(60歳代・会社員)

・食料自給率が下がって乏しい。自国の食糧は自分たちで確保すべきだと考える。農業離れを少なくする政策が必要ではないか？この不穏な世界情勢だからこそ、自国の食糧は自国で賄うのは必要だと思う。(70歳代)

・耕作面積160aの内、減反政策に伴い50年以上もの間、30aは羽鳥ダムからの水を全く使用していないのにもかかわらず、賦課金の義務があるのには『C o n t r a d i c t i o n (矛盾)』を感じる。賦課金UP(500円/10a)の実施タイミングで脱会を真剣に検討、考えざるを得ない。(60歳代・専業農家)

・田んぼを早い時期に手放したい。米はあまり消費しないので、経費より買った方が安上がりなので。(70歳代)

・作らないのにただ金払っている。10年以上も。(60歳代)

・老朽化や地震は目に見居っているが、一番は人件費だと思う。人員を無くせ!!(70歳代)

・水は広域市町村県国が負担する時代。農家だけの修繕費ではない。国民の責任。(70歳代・兼業農家)

・須賀川六軒地区まで十分に水を流してほしい。通水を早く。5月1日からにしてほしい。(60歳代・専業農家)

・田んぼは続けることはできない。脱退を希望します。(80歳以上)

・修繕費はどこまで改良区ですか？賦課金の値上げはだれが決めたのか？（70歳代・専業農家）
・早めの通水は不可能なのですか？（60歳代・兼業農家）
・羽鳥ダムにプラスサブダムの建設。稲作を安心して作れるように願っている。（50歳代・専業農家）
・要するに組合員の負担を軽くするのが大切で、水系では効率化を図って、水利費を安くし、改良区も効率化によって組合員への賦課金を安くする。水田経営のやる気をなくしている。組合員を改良区に留めておくにはこれが一番だと思う。（70歳代・専業農家）
・少ない年金で生活をしているので、賦課金を支払うのが大変です。（80歳以上）
・耕作もしていないので賦課金を払うのは大変のうえ、田んぼの草刈りもたのんでいるので支払いも大変です。決済金を払って脱退したいのですが、決済金は高いと聞いているのでできない。（60歳代・会社員）
・賦課金の値上げもやむを得ない。取水を早く通水して下さい。（70歳代・専業農家）
・米の値に合わせた賦課金のシステムに変更して頂きたい。米の値が下がっているときに値上げするのは、規模の小さい農家には田んぼをやめろと言っているのと同じでは？農業従事者がいなくなります。（60歳代・専業農家）
・後継者がおらず、田んぼは手放したい現状にあります。（80歳以上）
・アンケート結果の報告要。改良区の方針を聞きたい。（50歳代・会社員）
・後継者なし。ゆくゆくは借りる人がいれば（4.5ha）（70歳代・専業農家）
・高齢化の方が理事をしていて、連絡もなく、こまっている。（70歳代・専業農家）
・減反により田んぼから畑で数十年耕作してきましたが、現在も必要以上の改良費があり、また、決済金を払わないと脱退出来ないのは私には理解できません。金額もかなり高額であり、なぜその金額かもわかりません。（60歳代・専業農家）
・8月11日～14日の断水理由は？出穂期・登熟期・重要時期である。現況の賦課金も高額であり、せめて中通り地区の栽培指針に添って通水計画を立ててほしい。取水開始は遅く、止水は早すぎる。これでは良質米の生産は無理である。（60歳代・専業農家）
・田んぼをなんとか現状維持していきたいが、米価格が下落し、賦課金が上がっていくのでは、将来性が見えず、どこかのタイミングで決断をしなければと考えています。（50歳代・兼業農家）
・米の価格は安いし、経費は上がるし、かかるし、負担が大きくなっている。（60歳代・兼業農家）
・水田農業の現状を再検討する必要。（70歳代・専業農家）
・米価が下がって、肥料や農機の値段が上がっているの、田んぼはやりたくてもやれなくなっている。（50歳代・会社員）
・耕作をやめて10年以上たつが、後継者もなく田んぼをどうしていいかわからない。（60歳代）
・パイプラインにすると、国は、水圧だけとなり、水のロスもなく、人件費もかからないといってパイプラインをすすめておいて、いざ壊れたら、「自分たちで直せ」はおかしくないですか？（50歳代・兼業農家）
・最近、パイプラインの修繕費がかさみ、改良区の財政をひっ迫していると思うが、今後の事を考えると、非常に不安である。（60歳代・専業農家）
・米価下落と物価上昇で持続するのは困難になる。（70歳代・専業農家）
・羽鳥ダム以外の取水検討。（50歳代・兼業農家）
・離農している人が増えているのに、修繕費用不足だから『賦課金値上げ』は組合員の負担ばかりが増えていく。負担のかからないような方法を!!（50歳代）
・今後食料が不足することが考えられるので国の金による食料自給率を上げて行かないと思う。政治の責任で国を守る。（60歳代・専業農家）
・米は安いから今後の事が心配。（70歳代）
・今の水利費徴収は問題あり。開田も旧田も関係ない。鏡石の場合、羽鳥用水から水が通水し水路→水田なら問題無し！しかし、水路→池（貯水）→開田もしくは旧田へ。この旧田へは絶対おかし。改良区はこの現状をわかっていながら旧田から耕作者から水利費を徴収しない!!鏡石の場合、水路より下の田んぼの耕作地は全て水利費を徴収すべき!!!しないのであれば、通水せず、町内は自然水利で耕作するのみ！
・羽鳥は重要な水資源ですので、このまま続けてほしい。※羽鳥の取水が無くなると、農業は終わりになってしまう?!

《天栄村》

・矢吹原土地改良区の取水利用にはあまり影響がない地区なので、脱退しても良いかと考えている。もう少し農家がメリットを感じる様な活動を望みます。（60歳代・兼業農家）

《その他》

・相続で受継いだ田畑ですが、耕作は他人任せ、今後田畑を守っていくには集団農業（法人化）を望んでいます。その時には出資してもと考えています…。岩農という伝統高校もあるので、この地域の農業が衰退していくのはさみしい限りです。（70歳代・郡山市）

・矢吹原土地改良区一他の改良区、矢吹改良区・母畑改良区などは、今の様な事はなく、自己努力をしてなんとか現状を保っています。なにか有るたび、組合員に負担になるようでは大変つらいと思います。（60歳代・専業農家・玉川村）

<p>・決済金を払い脱退した場合、土地の処遇について。土地改良区解散の場合の処遇について。（70歳代・東京）</p>
<p>・米価格が下落している中、これ以上、生産者から負担が増えれば、農業をやめる方が多くなると思います。食料生産をもっと国が重要視し農業者が生産意欲が高まる政策を打ち出してほしい。大規模農家や法人でも事業がやっていけなくなる。（60歳代・団体職員・郡山市）</p>
<p>・米価が下降するなかで、賦課金を払いながら農業を続ける人は少ないのではないか。食の安全保障の観点から、施設の維持管理をもっと行政にお願いできないか？（60歳代・福島市）</p>
<p>・負担金（改良費+水使用料）が高額であるため、利益が出ない。（60歳代）</p>
<p>・シルバー人材センター80歳の自分を考えて、何が言うことがありましよう。ただ感謝。ありがとう。以上。（80歳以上）</p>
<p>・国策で水田を作らせたが、日本人は米は主食であるので、国民に米を麺・パン他加工し、又は国外の食糧難民にくれてやるように、日本人には和食事に補助金を出す位にすれば米余り少なくなるかも?!</p>
<p>・水を購入と考えると、費用が掛かるのはやむを得ない。（60歳代・会社員）</p>

今回のアンケートにご協力をいただきありがとうございました。